



インターンシップ・海外留学



大学3年次にインターンシップとして官公庁や建設会社で実務経験を積む学生が多いことが特長の一つです。大学で学んだ専門知識の実務への応用を体感することや就職時のミスマッチを防ぐなどキャリア形成を図る重要な機会となっています。(2017年度官公庁28名、民間20名) また、近年は海外へ留学する学生も増えています。



求める人物像



本コースでは強い学習意欲を有し、グローバルな視野と独創的な発想で、災害に強く、自然環境と調和した魅力あふれる「まちづくり」について関心があり、将来、地域や国内外で活躍する意欲があることを受け入れ方針とし、次の項目に該当する人物を求めています。

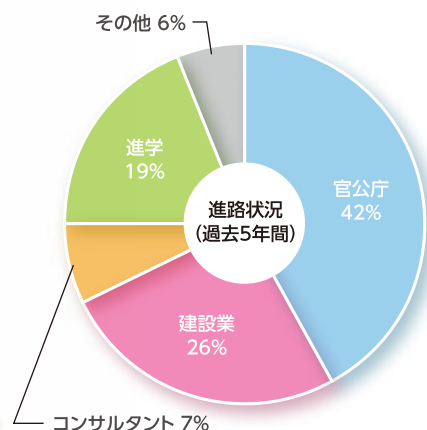
- 工学を学ぶ意欲と目的意識を有し、高等学校で学んだ基礎学力を身につけた人
- 修得した知識等を活用するための思考力、判断力、表現力を身につけている人
- 様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人



卒業後の進路



毎年100社以上の優良企業から求人が寄せられ、2018年度は官公庁22名、県内民間5名、県外民間8名、進学8名とほぼ全員が希望通りの進路となっています。



卒業生の声

内閣府沖縄総合事務局
南部国道事務所
山城 慶さん(平成27年度卒)

私は大学卒業後、技官として沖縄総合事務局へ入局し、道路事業に携わっています。道路は我々の生活を支える社会基盤の中でも最も基礎となるものであり、交通はもちろん、災害時の避難路、水道・ガス・上下水道の収納スペース等様々な役割を持っています。道路事業関係の公務員の主務は、常に健全な道路を利用してもらえる様に、地域環境に即した設計と、施工・維持管理における関係機関や地域の方との適切な協議及び調整です。事業を適切に進めるためには、多くの経験と知識が必要となります。

社会基盤デザインコースではそれらの基本となる知識と、大学で修学する様々な事象のメカニズムを経験することのできる設備と機会があります。先生方も学ぶ姿勢に真摯に答えてくれますので、中身の濃い学生生活を送ることができるかと思います。社会に役立つ仕事がしたい、メカニズムを解明したい等の多様な要望に対応できる懐の広い分野ですので、本コースで学んでみてはいかがでしょうか。

主な進路先

官 公 庁	沖縄県庁、長崎県庁、内閣府沖縄総合事務局、国土交通省、経済産業省、那覇市役所など
県内民間	大城組、金秀鉄工、國場組、ホープ設計、中央建設コンサルタント、西日本高速道路総合サービス沖縄など
県外民間	大林組、五洋建設、大成建設、大日本コンサルタント、西日本旅客鉄道、西日本高速道路、横河ブリッジなど
進 学	琉球大学大学院、東京工業大学大学院、横浜国立大学大学院、長崎大学大学院など

琉球大学 工学部 工学科社会基盤デザインコース

University of the Ryukyus Civil Engineering Program



琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース

<http://civil.tec.u-ryukyu.ac.jp/>

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

コース事務室 TEL:098-895-8640 FAX:098-895-8677

※入試に関する詳細は募集要項をご確認下さい。





災害に強く自然と調和した“まちづくり”を
デザインする技術者を育成します

コース概要

「社会基盤」とは、都市を形成する公園、道路、橋、モノレール、トンネル、空港、港湾、ダム、海岸など、私たちの生活を支える公共施設の総称です。

また、「デザイン」とは、解決すべき問題に関して、幅広い知識と高度な専門技術を活用して、公共の福祉、環境保全、経済性などの制約条件下において、社会のニーズに応える最適な解決方法を提案できる能力であり、本コースでは、災害に強く自然環境と調和した安全・安心・快適なまちを創造できる能力を意味します。

育成する人材像

本コースでは、社会基盤施設の計画・設計・建設・維持管理までの体系化された専門知識の習得を通して、継続可能な社会基盤の創生へ貢献できる技術者を育成します。また、フィールド科学、実験科学および計算科学などの先進手法を融合した専門知識を習得し、気候変動や自然災害に対する超域環境防災の諸問題解決へ貢献できる技術者を育成します。さらに、日本で唯一の亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地域特性を活用した教育・研究を推進しグローバル社会へ貢献できる専門技術者を育成します。

JABEE 認定プログラム

本コースの教育プログラムは、**国際水準の教育システム**としてJABEE認定を得ています。

プログラム修了者(卒業生)は、**国家資格技術士の一次試験が免除**されるとともに、**海外で活躍できる国際的技術者として認定を受けることが可能**になります。



学生の声

西条高等学校卒(愛媛県)
浅木 里桜さん(4年次)

私たちの基本的な生産・生活を支えているのが道路や橋、ダムなどの社会基盤です。また、私たちの暮らしをより快適なものにするためには、新たな施設の建設だけでなく、老朽化していく施設の維持管理が重要となってきます。

本コースで学んだ知識や経験は行政や現場監督者、技術士等で活かされ、国内だけではなく諸外国などさまざまな場所で社会貢献することができます。さらに、男性とは違った目線で事業を客観的にとらえられる等の理由で、最近では女性技術者の需要が高く、就職活動や就職後の女性に対するサポートが充実していることも魅力的です。

社会基盤デザインコースで学ぶことで、自身の幅が広がり、やりたいことが必ず見つかるはずです。そして、技術者として誇りをもって、次世代を担っていけると 생각합니다。



社会基盤デザインコースの教育と研究



社会基盤デザインコースでは、講義・研究を通じて

- 社会基盤施設の計画・設計・建設・管理・運営に必要な能力
- 物事を多面的に捉え、積極的に問題を解決できる能力
- 人類と自然環境との共生や技術者の社会的責任を理解し、地域・国際社会へ積極的に貢献できる能力

を養成しています。



1
年次

講義



工業数学

実習



測量実習

3
年次

演習



工学基礎演習

実験



コンクリート工学実験



4
年次

大
学院



サンセットパークの
景観デザイン



大型水槽を用いた消波ブロック開発

研究

フィールドを
活かした
最先端の研究



ビッグデータを活用した
交通マネジメント



ドローンによる構造物調査



腐食防食手法の開発



数値シミュレーション
による構造物の
性能診断

安心・安全・快適で
先進的なまちづくりが可能

研究キーワード

災害リスクマネジメント、交通計画、住民参加型まちづくり、観光地域計画、河川・沿岸環境デザイン、波・ビーチ設計、津波防災、海底環境・資源、地盤災害、斜面崩壊、橋梁設計、防食設計、耐風・耐震工学、金属疲労、維持管理、劣化診断技術、モニタリング

